

平成30年

第1回防府市議会定例会

一般質問

3月5日（4人）

1 山田 耕治・2 今津 誠一・3 山根 祐二・4 河村 孝

3月6日（4人）

5 田中 健次・6 曾我 好則・7 高砂 朋子・8 牛見 航

3月8日（3人）

9 清水 力志・10 山本 久江・11 三原 昭治

No.	1	山田 耕治	
質 問 事 項			要 旨
1	災害に強いまちづくりについて	<p>(1) 防府独自の自主防災組織率の推移状況は？</p> <p>(2) 災害時に市町間で連携を結ばれているが、応援協定の実績は？</p> <p>(3) 安心して暮らせるまちに住みたいと考える市民が多い中、市民の目線に立った「安心・安全なまちづくり」を基本方針としている防府市に移り住んでいただくための施策は？</p> <p>(4) “災害に強いまち防府”をキャッチコピーに、いざというときにも安心して暮らせるまち、災害に強いまちづくりを目指しPRをしては？</p>	
2	市の環境整備について	<p>(1) 港環境整備に対する進捗状況及び今後の予定は？</p> <p>(2) 市民を巻き込んだ植樹はどれくらいになったのか？また、まちの景観に向けた植樹の考えは？</p> <p>(3) 以前、市内の公園やバス、タクシーの待合場所や休憩所へサポートベンチ設置のお願いをしたが、その後の取組みは？</p>	

No.	2	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
<p>1 中心市街地活性化の課題</p> <p>2 建築廃材の適正処理</p>	<p>中心市街地の活性化は全国に共通した課題とされている。</p> <p>活性化における問題点を何と考えるか、又、人口・経済の縮小時代において、いかなる手法の活性化策が有効と考えるか、執行部の所見を尋ねる。</p> <p>建築現場から発生する廃材（木材）が家庭で燃料として使われている。</p> <p>中には、燃焼させると有毒ガスを発生するものも含まれており、住民から改善の要望がある。</p> <p>業者への徹底した指導を求めるがいかがか。</p>	

No.	3	山根 祐二
質問事項		要 旨
1 観光振興について	<p>(1) 昨年9月より防府市観光案内所を、駅コンコース内に移設し、リニューアルオープンし、新たにタブレット端末を活用した観光案内や、無料Wi-Fiサービス、英語による案内スタッフの配置を開始したが、その利用状況はいかがか。</p> <p>(2) 駅から天満宮、国分寺、毛利邸や山頭火生家跡等の目的地までの案内標識はどのように設置しているか。</p> <p>(3) 歩行、または自転車による観光客が天満宮までの道筋で利用可能なトイレと休憩所はどうなっているか。</p>	

No.	4	河村 孝
質問事項		要 旨
<p>1 安全な学校環境の構築と地域への普及啓発について</p> <p>2 レノファ山口のホームタウン自治体としての取組について</p>	<p>(1) 小中学校における児童生徒への心肺蘇生とAEDに関する教育の現状について</p> <p>(2) 教職員・保護者への心肺蘇生とAED講習の実施状況と今後の具体的な取組について</p> <p>(3) 地域への普及啓発について</p> <p>ホームタウン自治体としての主な実績と今後の取組について</p>	

No.	5	田中 健次			
質 問 事 項			要 旨		
1	市長の「市立美術館の建設構想」について		<p>(1) 昨年の3月議会での一般質問以降、どのような検討がされたのか。</p> <p>(2) 市長は退任されるが、この建設構想を次期市長にどう引き継ぐのか。</p>		
2	アスピラートの「山頭火の部屋」について			<p>山頭火ふるさと館が開館したが、アスピラートの「山頭火の部屋」は、今後どうするのか。このまま展示を継続するのか。</p>	
3	土曜日の教育活動について			<p>(1) 「土曜授業」についてのアンケート結果が昨年末に公表されたが、この結果から、新年度はどのような方針で、実施されるのか。</p> <p>(2) 教職員の負担を軽減するため、「出前講座」のキッズ版を検討すべきではないか。</p> <p>(3) 文部科学省は、土曜日の教育活動として、  ①教育課程内の学校教育である「土曜授業」、  ②教育課程外の学校教育である「土曜の課外授業」、  ③教育委員会など学校以外のものが主体になる「土曜学習」の3つを定義している。今後は、「土曜の課外授業」、「土曜学習」へ移行すべきではないか。</p>	

No.	6	曾我 好則	
質 問 事 項			要 旨
1	今後の財政運営と市庁舎建設について		<p>昨年10月に策定された「防府市中期財政計画（H30～34）」では、計画期間の収支は歳出超過の状態が続き、収支の均衡を図るには非常に困難であるとともに、当初予算編成の財源不足は年々拡大傾向にあり、過度な基金の繰り入れはいずれ限界を超えるため、抜本的な対策が必要とある。</p> <p>さらに、この計画期間の先には、本格的な新庁舎建設が控えており、将来的な負担は一層増加することが見込まれるが、今回の中期財政計画を策定された責任者として、庁舎建設に係る財源確保を含め、中長期的な財政運営のご所見を伺う。</p>
2	都市計画マスタープランについて		<p>商工会議所が主体となって中心市街地活性化協議会を立ち上げ、市は庁内検討委員会を設けて総合的に検討を進めるとされたが、その後の取組は進んでおらず、駅北のまちづくりの方向性も明らかになってなく、庁舎建設も駅北か現在地かが定まっていない。</p> <p>さらに、立地適正化計画は、来年度から取組を進めるとのことであるが、その方向性は来年度以降定まるものとする。</p> <p>このため、マスタープランは、本市のまちづくりを進める上での重要な中長期的な計画であり、慎重を期して策定する必要がある。</p> <p>来年度以降、新たな市長がまちづくりのかじ取り役となるため、慌てて策定する必要はないと考えるが、なぜ今、マスタープランを策定する必要があるのかご所見を伺う。</p>
3	副市長の人事について		<p>今回の副市長の辞任は、4月に就任した時、来年5月に市長選があると分かっているながら、市長選に出る気があったなら、副市長を受けべきではなかったし、出る気がなかったのなら、最後まで職を全うすべきであり、小泉進次郎衆議院議員のお言葉を借りれば、「受けて無責任、辞めて無責任」と考える。</p> <p>副市長の任命責任者である市長のご所見を伺う。</p>

No.	7	高砂 朋子		
質 問 事 項			要 旨	
1	トイレ環境向上のための取 り組みについて		<p>(1) 災害時のトイレ対策について</p> <p>ア 国交省は、平成28年3月にマンホールトイレの有用性を示し、災害時に快適なトイレ環境を確保することを目的にしたガイドラインを示している。以前より、避難所となる小中学校にマンホールトイレ設置の必要性を訴えているが、改めて災害用マンホールトイレ設置に対する見解を伺う。</p> <p>イ 平成29年12月公表の「防府市業務継続計画」に、災害時のトイレは、携帯・簡易トイレの備蓄を行うとし、耐震性のある施設に備蓄場所を確保とあるが、どのように想定しているのか伺う。</p> <p>(2) 公共施設における洋式トイレおよび多目的トイレの設置状況について</p> <p>ア 洋式化を望む声は、生活様式の変化や、高齢化に伴い、多くなっている。今後の取り組みが急がれる。公共施設における洋式トイレおよび多目的トイレの設置状況を伺う。</p> <p>イ 財政負担の平準化の観点から、市内にある多数のトイレを全庁的、計画的に整備していくべきではないか。ご所見を伺う。</p>	



No.	8	牛見 航
質 問 事 項		要 旨
1 情報発信について	新設される情報発信を所管する部署について、具体的な方針、業務内容、運営方法を教えてください。	

No.	9	清水 力志		
質 問 事 項			要 旨	
1	自治体クラウドについて		(1) 自治体クラウドを導入するにあたり、導入するメリットとデメリットは。	
2	低い投票率について		(1) 1月18日告示、2月4日投開票で行われた山口県知事選挙において防府市の投票率は34.74%と、低いものであったが、この投票率の低下の原因はどのように分析しているか。	
			(2) 投票率向上のための啓発はどのように行っているか。	
			(3) 防府市の小中学校における選挙についての指導の現状は。	

No.	10	山本 久江	質問事項	要 旨
1			教育環境の整備について	(1) 通級指導教室の設置について (2) 市奨学資金貸付条例の見直しと給付型奨学金制度の創設について
2			子育て支援について	(1) 保育料軽減策の拡充について (2) 市立保育所の民営化計画について
3			国民健康保険制度について	子育て支援の観点から子どもの均等割軽減ができないか。

No.	1 1	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	新庁舎建て替えまでの地震対策について	<p>耐震性を満たしていない現庁舎の建て替え計画が進められているが、その間の地震対策をどのように考えているのか。</p> <p>また、現時点でどのような対策を講じているのか。</p>
2	防府市個人情報保護条例について	<p>防府市個人情報保護条例に基づき、市職員が職務上知りえた個人情報の適正な管理、利用目的の明確化など、運用についてどのように取り組んでいるのか。</p>

